



2025年10月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年6月12日

上場会社名 セルソース株式会社 上場取引所 東
コード番号 4880 URL <https://www.cellsource.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長CEO（氏名） 澤田 貴司
問合せ先責任者（役職名） 執行役員 コーポレート本部長（氏名） 伊賀 智洋（TEL）0364555308
半期報告書提出予定日 2025年6月12日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（投資家・アナリスト向け）
(百万円未満切捨て)

1. 2025年10月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年11月1日～2025年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年10月期中間期	1,820	—	17	—	18	—	11	—
2024年10月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2025年10月期中間期 8百万円（—％） 2024年10月期中間期 ー百万円（—％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年10月期中間期	0.56	0.56
2024年10月期中間期	—	—

(注) 当社は、2025年10月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2024年10月期中間期の数値及び対前年同中間期増減率並びに2025年10月期中間期の対前年中間期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年10月期中間期	6,941	5,947	85.1
2024年10月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2025年10月期中間期 5,904百万円 2024年10月期 ー百万円

(注) 当社は、2025年10月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2024年10月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年10月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2025年10月期	—	0.00	—	—	—
2025年10月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年10月期の連結業績予想（2024年11月1日～2025年10月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,501	—	370	—	372	—	255	—	12.88

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2. 当社は、2025年10月期第1四半期より連結決算へ移行したため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) ハイブリッドメディカル株式会社、除外 社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年10月期中間期	19,812,762株	2024年10月期	19,806,100株
② 期末自己株式数	2025年10月期中間期	580株	2024年10月期	580株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年10月期中間期	19,810,619株	2024年10月期中間期	19,798,452株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2025年6月12日(木)に、オンラインによる投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(連結範囲の重要な変更)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等の注記)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、当中間連結会計期間より中間連結財務諸表を作成しているため、前年中間連結会計期間との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当社は、2014年11月の「再生医療等の安全性の確保等に関する法律（以下、「再生医療等安全性確保法」という。）」と「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」施行を踏まえ、再生医療関連事業の産業化推進と同業での新たな価値創出を目指し2015年11月に創設され、当事業年度は第10期となります。

当社は、血液由来加工受託サービス、脂肪由来幹細胞加工受託サービス、滑膜由来幹細胞加工受託サービス、FatBankサービス及び卵子凍結保管受託サービスで構成される「組織・細胞の加工受託・保管サービス」、医療機関に対し再生医療等安全性確保法に関連する書類作成等のサポートを行う再生医療等法規対応サポートや経営管理支援サービスで構成される「医療機関支援サービス」、医療機関が患者から脂肪等を採取するために必要となる機器を販売する「医療機器販売」、並びに「化粧品販売その他」から構成される「再生医療関連事業」を行っております。

当社はこれまで、主力である整形外科領域において医療機関向けに再生医療関連事業を展開して参りましたが、今後は医療機関やパートナー企業とともに、再生医療関連事業を社会へ実装するフェーズへ移行します。2024年12月には「セルソースビジョン」と題して、「膝の痛みに悩む人をゼロへ」というテーマと共に中長期的な事業の方向性を示しました。当事業年度はその実現に向けた「Year 0」であり、中長期的な成長の基盤を築く年として、「経営リソース配分の最適化」「整形外科向け既存事業の拡充」「ビジョン実現に向けた先行投資」の3つのコミットメントを掲げました。

また2024年11月にハイブリッドメディカル株式会社を100%出資の子会社として設立し、同社を連結対象としております。同社は再生医療関連事業を社会へ実装するために、整形外科を中心とした全国の医療機関とより密な連携を図り、医療機関の経営管理支援サービスを展開しています。

当中間連結会計期間におきましては、主事業である血液由来加工受託サービス、脂肪由来幹細胞加工受託サービスにおいて、受託件数が前期比低下しました。一方、経営リソース配分の最適化に向けて販売管理費を中心にコストの見直しと削減を実行しました。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高は1,820,503千円、売上総利益は1,021,370千円、販売費及び一般管理費は1,004,296千円、営業利益は17,073千円、経常利益は18,950千円、親会社株主に帰属する中間純利益は11,172千円となりました。

各サービス別の概況は、以下のとおりです。なお、当第1四半期より、従来「コンサルティングサービス」としていた名称を「医療機関支援サービス」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。また、当社は「再生医療関連事業」の単一セグメントを採用しております。

(加工受託サービス・医療機関支援サービス)

加工受託サービス又は医療機関支援サービスの契約を締結した提携医療機関数は前事業年度末から62院増加し、当中間連結会計期間末には2,017院と順調に拡大いたしました。一方、医療機関あたりの受託件数は伸び悩み、血液由来加工受託サービスと脂肪由来幹細胞加工受託サービスを合計した加工受託件数が前年同期の11,255件から当中間連結会計期間は10,303件に低下しました。

上記の結果、当中間連結会計期間の加工受託サービスの売上高は1,194,790千円、医療機関支援サービスの売上高は62,708千円となりました。

(医療機器販売)

医療機器販売は、主に美容クリニック等の医療機関に脂肪吸引機器等の医療機器を販売しております。当中間連

結会計期間の売上高は、取引先への販売の減少により422,930千円となりました。

(化粧品販売その他)

化粧品販売はBtoCモデルとBtoBモデルがあります。BtoCモデルは、主に自社Webサイトを中心に自社の化粧品を販売しております。またBtoBモデルは、自社で開発した化粧品原料を販売会社に提供、及び販売会社の委託を受けて自社化粧品原料を用いたOEM製造・販売をしております。当中間連結会計期間は、BtoBモデルによる化粧品販売の減少により、売上高は140,074千円となりました。

当社が経営上の主要係数としてモニタリングしている加工受託サービス又は医療機関支援契約を締結した「提携医療機関数」、血液由来加工受託サービスと脂肪由来幹細胞加工受託サービスを合計した「加工受託件数」及び「営業利益率」の各数値、並びにサービス分類別売上高の四半期（3カ月）推移は以下のとおりとなっております。

(金額単位：千円)

	2024/10期 第2四半期	2024/10期 第3四半期	2024/10期 第4四半期	2025/10期 第1四半期	2025/10期 第2四半期	直前四半期 対比
提携医療機関数（期末）	1,865院	1,923院	1,955院	1,982院	2,017院	+35院
加工受託件数	5,570件	6,271件	5,418件	4,981件	5,322件	+341件
営業利益率	7.2%	9.6%	-25.5%	-7.3%	8.2%	+15.5ポイント
(サービス分類別売上高)						
加工受託サービス	671,872	712,332	694,970	555,534	639,255	+15.1%
医療機関支援サービス	62,770	42,102	24,275	21,542	41,165	+91.1%
医療機器販売	188,596	225,539	206,669	218,285	204,645	△6.2%
化粧品販売その他	130,917	133,736	87,765	53,822	86,251	+60.2%

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は6,941,799千円となりました。主な内訳は、現金及び預金4,407,920千円、投資その他の資産その他765,907千円、建物（純額）726,980千円であります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は994,157千円となりました。主な内訳は、資産除去債務296,869千円、固定負債の契約損失引当金222,516千円、流動負債その他210,806千円であります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は5,947,642千円となりました。主な内訳は、利益剰余金3,132,194千円、資本金1,428,074千円、資本剰余金1,338,074千円であります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は4,407,920千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は174,883千円となりました。これは主に、減価償却費98,845千円の計上及び税金等調整前中間純利益23,075千円の計上などがあったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は21,983千円となりました。これは主に、敷金及び保証金の回収による収入45,011千円などがあったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は108,968千円となりました。これは主に、配当金の支払98,790千円などがあったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年10月期の業績予想につきましては、2024年12月12日に公表いたしました予測値から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

当中間連結会計期間 (2025年4月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	4,407,920
売掛金	308,138
商品及び製品	78,340
仕掛品	44,887
原材料及び貯蔵品	158,398
その他	76,144
貸倒引当金	△5,181
流動資産合計	5,068,648
固定資産	
有形固定資産	
建物（純額）	726,980
その他（純額）	324,034
有形固定資産合計	1,051,015
無形固定資産	
投資その他の資産	56,392
その他	765,907
貸倒引当金	△165
投資その他の資産合計	765,742
固定資産合計	1,873,150
資産合計	6,941,799
負債の部	
流動負債	
買掛金	65,894
未払法人税等	23,619
賞与引当金	63,876
役員賞与引当金	5,970
受注損失引当金	2,507
株式報酬引当金	16,698
契約損失引当金	39,083
その他	210,806
流動負債合計	428,456
固定負債	
資産除去債務	296,869
契約損失引当金	222,516
その他	46,314
固定負債合計	565,700
負債合計	994,157

(単位：千円)

当中間連結会計期間
(2025年4月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	1,428,074
資本剰余金	1,338,074
利益剰余金	3,132,194
自己株式	△1,703
株主資本合計	5,896,641
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	7,516
その他の包括利益累計額合計	7,516
新株予約権	43,484
純資産合計	5,947,642
負債純資産合計	6,941,799

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)
売上高	1,820,503
売上原価	799,133
売上総利益	1,021,370
販売費及び一般管理費	1,004,296
営業利益	17,073
営業外収益	
受取利息	52
固定資産売却益	1,678
確定拠出年金返還金	3,059
雑収入	1,872
営業外収益合計	6,663
営業外費用	
支払利息	564
投資事業組合運用損	1,538
為替差損	887
固定資産売却損	830
創立費	963
その他	3
営業外費用合計	4,786
経常利益	18,950
特別利益	
新株予約権戻入益	4,124
特別利益合計	4,124
税金等調整前中間純利益	23,075
法人税、住民税及び事業税	7,394
法人税等調整額	4,508
法人税等合計	11,902
中間純利益	11,172
親会社株主に帰属する中間純利益	11,172

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

当中間連結会計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)	
中間純利益	11,172
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△2,836
その他の包括利益合計	△2,836
中間包括利益	8,336
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	8,336

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当中間連結会計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	23,075
減価償却費	98,845
長期前払費用償却額	2,802
敷金償却	5,493
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△58
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△52
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,970
株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	13,063
契約損失引当金の増減額 (△は減少)	△11,416
受取利息	△52
支払利息	564
固定資産売却益	△1,678
固定資産売却損	830
為替差損益 (△は益)	894
投資事業組合運用損益 (△は益)	1,538
創立費	963
株式交付費	3
株式報酬費用	2,155
新株予約権戻入益	△4,124
売上債権の増減額 (△は増加)	20,621
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,209
前渡金の増減額 (△は増加)	6,833
仕入債務の増減額 (△は減少)	△27,172
前受金の増減額 (△は減少)	△5,243
その他	43,943
小計	180,009
利息の支払額	△564
利息の受取額	52
法人税等の支払額	△12,592
法人税等の還付額	7,978
営業活動によるキャッシュ・フロー	174,883
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△13,076
有形固定資産の売却による収入	1,918
無形固定資産の取得による支出	△2,267
長期前払費用の取得による支出	△7,639
敷金及び保証金の差入による支出	△1,000
敷金及び保証金の回収による収入	45,011
その他の支出	△963
投資活動によるキャッシュ・フロー	21,983

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	69
リース債務の返済による支出	△10,246
配当金の支払額	△98,790
財務活動によるキャッシュ・フロー	△108,968
現金及び現金同等物に係る換算差額	△894
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	87,004
現金及び現金同等物の期首残高	4,320,915
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,407,920

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結範囲の重要な変更)

当中間連結会計期間の期首において、ハイブリッドメディカル株式会社を設立し、連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、「再生医療関連事業」のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(ストックオプションとしての新株予約権の発行)

当社は、2025年6月12日開催の取締役会において、会社法第236条、第238条及び第240条の規定に基づく、ストックオプションとしての新株予約権の発行について決議いたしました。

発行要領は以下の通りです。

- (1) 新株予約権の発行日 2025年6月30日
- (2) 新株予約権の発行数 1,582個(新株予約権1個につき普通株式100株)
- (3) 新株予約権の発行価額 金銭の払込みを要しない
- (4) 新株予約権の目的となる株式の種類及び数 当社普通株式 158,200株
- (5) 新株予約権の行使に關しての払込金額

行使価額を割当日である2025年6月30日の東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値（終値がない場合は、それに先立つ直近日の終値）と定め、その行使価額に新株予約権1個当たりの目的たる株式の数を乗じた金額

- (6) 新株予約権の行使期間 2027年6月13日から2035年6月12日

- (7) 新株予約権行使により株式を発行する場合の発行価格及び資本組入額

資本組入額は、会社計算規則第17条第1項に従い算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額とし、計算の結果1円未満の端数が生じたときは、その端数を切り上げる。また、新株予約権の行使により株式を発行する場合において増加する資本準備金の額は、上述の資本金等増加限度額から上述の増加する資本金の額を減じた額とする。

- (8) 新株予約権の割当対象者及び割当数 従業員2名 1,582個